



飛翔

石川県立金沢西高等学校同窓会

〒920-0344 石川県金沢市畷田東3-526
TEL 076-268-4321 <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~nishih/>

印刷・デザイン 株式会社 サラト

〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
TEL 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp>

同窓会報発刊にあたって

同窓会長 石動 博一
(昭和54年卒)



昭和49年1月に石川県立金沢西高等学校設立が認可されて、今年で35年目を迎え、第1期卒業生の皆さんが今年50歳となります。しかし、その35年の間に、一時は、閉校の危機もありました。当時の近藤会長始め、第1期卒業生を中心とした、同窓会役員の方々の大変な努力で、幸い私たちの母校は存続する事となり、今も後輩達を世に送り出してくれています。

第13代の福島良治校長は、「目指せ、西高 is NO.1」というキャッチフレーズを考えて大いに西高のPRをして頂きましたが、私たち同窓生自身が、後輩たちに西高の生徒であるという誇りを持って貰えるようにしなければならないのは言うまでもありません。勿論、学力も大切な事ではありますが、社会に出て活躍し、自分の夢に向かって「飛翔」する事の出来る人材を多く輩出する学校になって欲しいと思います。そして、私たち同窓生は、後輩の為に出来るだけの支援をしていきたいと思っています。

今回、35周年としての特別な催しは開催せず、同窓会の名簿も作成しませんが、住所確認とデータ更新の意味も含めて、皆様の所にこの会報を送らせて頂きました。また、出来るだけ各卒業年度ごとの同窓会を開催しやすいように、同窓会事務局も案内の発送の代行等をして、支援をさせていただきますので、是非活発に各卒業期毎の同窓会を開催して頂きたい、お願い申し上げます。

最後に、在校生の皆さん、同窓生の皆様の今後益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げまして発刊のご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

学校長 木村 明



本校は、金沢駅西地区に普通科の高等学校の設置をという、地域の強い希望を受けて昭和49年4月に金沢市緑町の仮校舎に一期生230名を迎えて開校しました。翌昭和50年4月藤江北に新校舎が落成し移転、平成8年に全日制単位制普通科へ移行し、平成10年には県庁舎移転に伴い現在の畷田東の地に回廊式の校舎を新築移転して、今年で35周年を迎えます。

開学以来、保護者や地域の皆様の期待に応えるべく、文武両道をめざし「清純」「創造」「自主」「協調」の教育理念のもと多くの優秀な人材を社会に輩出し、平成19年度までに母校を巣立った同窓生は11,884名を数え、その有為の人材が各界で活躍されていることは本校の誇りであり、教職員一同の喜びでもあります。また、近年の教育改革の直中で、教育内容の向上、特色ある学校づくり、等々多くの教育課題に着実に取り組み、進学への意識も高まり今年度の4年制大学への進学率は62%を数えて、進学重視型単位制高校として県内でも独自の道を歩んでおります。

部活動でも今年度野球部が創設以来初めて北信越大会石川大会で優勝し、男女バスケットボールは春季大会で準優勝、昨年度はサッカー部も高等学校新人大会において優勝、空手道の全国選抜大会出場、陸上部の全国総体出場など多くの部が本校の歴史に新たなページを刻んでいます。

同窓会の皆様にはマイクロバスの寄贈を始め、物心両面において多大なご支援を頂き、在校生の活躍の大きな支えとなっており、心より感謝申し上げます。今後とも後輩たちを温かく見守り、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

conversation 特集

親子対談 私たち親子で西高生です。



副会長 大畑
(昭和56年卒)

大畑 私は同窓会副会長の畑と申します。5期生です。今年、西高は35周年です。35年もたつと、卒業生は1万人以上になり、父親、母親が西高卒、お子さんも西高生というような家族が増えてきました。この機会に、あらためて西高というものを考えてみたいなと思いました。

桶：母 久しぶりにお目にかかる人が何人かいらっしゃって、すごく懐かしく思います。35年の間にこの学校もいろんな歴史を経て、昔と今と自分たちが生活していた高校のときとまた全然違うイメージが感じられます。

桶：娘 親子で西高生というのがすごいなと思いました。



桶親子

伊藤：父 我々の時代と娘の時代の生活の習慣はかなり違うので、我々とは大分違うと思うんですが、久しぶりに学校に来て、この新しい校舎に入ったのは私は初めてです。昔とは大分違うな、変わったなと今実感しているところです。

伊藤：娘 部活はバスケット部で、3年間はずっと部活だけの日々でした。

伊藤：母 何度か学校にも足を運ぶことがあって、やはり昔とはちょっと違うなというイメージと、でもなにか素朴な、ちょっと街中の学校とは違う西高生の雰囲気は変わってないかなと思っていました。

鷹栖：父 今もいろんなお話がございましたが、やはり当時と今と校舎は違えど自由な校風が同じじゃないかなと感じるところでございます。

鷹栖：娘 この機会に両親が通っていた頃の西高の様子を知りたいと思います。

鷹栖：母 入学式に来たときに、やはり校舎が違っていたので、最初は何も思わなかったのですが、校歌を聞いたときに懐かしいなと思いました。

大畑 それぞれ親御さんの5期、10期というその時代の西高を思い出しながら、周りの環境やそのときの友達とか、勿論先ほどらっとおっしゃってた校風ですよ、そんなところをちょっとかいつまんでお話いただければなと思います。

伊藤：父 そうですね、その当時はあまりそういうことを意識せずきていると思うので、学校が楽しかったか楽しくなかったかという観点になると、まあ、楽しかったんじゃない

かなと思いますね。その楽しいが年をとって考えると、自由にいろんなことができて、なおかつ友達なども今で言ういじめとかもなく、非常にライフワークとしていい学校だったなというのが一つ思い浮かびますね。

大畑 わりと部活で結構強かったのは、あの当時、僕らのときはバスケットとか、サッカーかな。

伊藤：父 もう少し前はラグビーとかね。

大畑 ラグビーもあったね。バスケは結構インターハイ行ってたんじゃなかったかな。

鷹栖：父 私の頃もやはり同じですね。サッカーと、バスケか。みなインターハイへ出ましたよね。私は硬式テニスだったのですが、そこそこ個人的には活躍される方もいましたし、結構自由なやり方で、先生もそんなに厳しく見てなかったですね。そういうような雰囲気の中で楽しく、結構部活に入っている人間自体が多かったように思うんですね。今はちょっとよく分からないのですが、帰宅部は少なかったように感じるんですかね。

大畑 テニス。じゃあ、今度は今の現役のお子さんたちに今のこの学校の雰囲気とか、今の「西高 is No.1」といったところの、あれに対する思いみたいなものを話してくれませんか。

桶：娘 みんな部活動にすごく一生懸命で、熱心で、元気な子がいっぱいいるなと思います。明るく、授業もすごく楽しいし、キャッチフレーズもかっこいいし、西高に入れてすぐいい場所に来たなと思います。

桶：母 毎日がすごく楽しそうなので嬉しいですね。

大畑 それはいいことですね。学校へ行きたくないとか思ったことは一度もない？

桶：娘 全然ないですね。熱を出しても休みたいというのがあるって、熱を出して途中で帰ったときもあったのですが、次の日はちょっと熱があっても学校へ行くと行って。休みたいということはありませんね。

鷹栖：娘 西高は行事が多くて、球技大会とか文化祭とかが楽しいからいいと思うし、でも行事とかだけじゃなくて、クラスのみならず授業とか休み時間が一番楽しいかなと思います。

大畑 やっぱり休みたいとか思ったことはない？ 楽しくてしょうがない？ 今、確かにそうだな。私も休もうと思ったことはないですね。当時は振り返っても、やはり面白くてしょうがなかったような記憶があります。確かに勉強は嫌いでしたけれども、なにか行くとクラスメートもさることながら、先輩後輩を含めてなにか縦のつながり、横のつながりがしっかりしている学校だったような気がします。

ところで、皆さんもお仕事のご事情で単身で赴任されているというお話もありました

が、最近どうですか、同級生、同窓生とお逢いしたことは？

鷹栖：父 そうですね、先週たまたま小松から福岡空港を降りるときに、テニス部の友達でダブルスを組んでいたやつと会いました。僕も「あいつ、石橋だな」と思ったんですが、向こうは分からなくて。結局、当時よりみんな太っているじゃないですか。お互いにやっぱり分からなかったと。声を聞けば分かるという感じですね。

大畑 自分の娘さんが西高校を受けるって決めたときにどう思ったか。逆に、娘さんの方は、お父さん、お母さんの出た学校を受けるということに対してどう思ったかはどうでしょうか。

桶：母 できればお母さんと一緒に学校に行ってほしいと自分ではずっと思っていて、言っていたんです。「近いし、遠い大変だから、できれば同じ学校に行けたらいいね」ということを常に言っていました。推薦ということでチャレンジしてみました。すると推薦の方で受かってしまって、思いがけなかったですね。

大畑 じゃあ、今、お話があったように、やっぱりそうやってできれば自分と同じ高校に行ってほしいなという思いもあったんでしょうし、逆に本人もどこか途中あたりから、どうしてもここにいきたいという思いが強くなったのかな？

桶：娘 親がずっと「西高へ行け」「西高へ行け」って言うから、行けたらいいなと自分も思ってた。

鷹栖：父 私はできれば来てくれるなど。西高に行ってくれるなど。そう言っていましたね。最後は本人の意志に任せました。今はすごく楽しいと言っているので安心はしているんですよ。

鷹栖：母 この子はもう見学から帰ってくるなりに「西高がいい、西高がいい」と言い出しました。ですから、やはり自分の行きたいところへ行ければいいかなと思いました。

鷹栖：娘 ほかに見学に行ったけど、西高の方が校舎がきれいだったし、制服も可愛いし、設備も整っているし、西高の方がいいかなあ。

伊藤：母 勉強もしっかりできるし、バスケもできるしということで、「まあ、西高でいいんじゃない？」という感じでした。

伊藤：父 自分の志望を娘が書けなかったですか。西高が一番上で、もっと学力上の学校が下にあるので、「どういうことや？ わかってくるんか？」という話だったんですけ



伊藤親子

ど。基準がもうバスケットで決めていたから。それならそれでいいんじゃないかと。

大畑 皆さんは先輩になるわけで、西高校というのは、結構世間で評判がいい方の学校な

んです。先輩から後輩へこんな西高生になってほしいということを一言ずついただければありがたいと思います。

伊藤：父 「No.1」というより「オンリーワン」という言いの方が世の中多くて、とりあえずがむしゃらに頑張って何か一つ他校なり、他の人なり、これだけは自信を持って言える、できるというのを、生徒さん一人ひとりが頑張っていってもらえたらなど。

伊藤：娘 「西高 is No.1」と言っているのをどれだけ本気にしているのかというのを、みんなが自覚というか、ただ言うだけではなくて行動しなくてはなと思います。

伊藤：母 みんなちゃんと挨拶も返してくれるし、身なりもそんなに乱れた子もいないし、ちゃんとしたところはちゃんとしているんじゃないかなという感じがするので、このまま西高生として胸を張って「私は西高です」と言える感じで、自分たちで一人ひとり自覚を持ってつくってほしいなと思います。

鷹栖：父 今、先生もおっしゃったとおり、35周年を迎えて、なおかつ消える学校もあれば、去年は1.5倍、今年は1.3倍という中で、やはりこういう少子化の中ではそこそこ人気のある学校だと思うんですね。というのは、中途半端だけでも自由だし、いい校風の学校だということで、それを皆さん先ほどから口



にされることだったので、あえて自由さを何か自分のために生かせるような学校で、なおかつアナログ感覚を持って、最後は西高生で良かったと。これからも40周年、50周年と迎えていけるように、皆さんも西高生なんだという誇りを持って頑張っていたきたいと思っています。

鷹栖：母 卒業してから知らなかった方とお話をするようになって、「どこの高校でした？」という話になって、西高と言われると、とても親近感が湧いてきて、やはりほかの方ともなんとなく親しみやすいというか。ですから、卒業してからが大事だと思うので、ちゃんと胸を張って「西高卒です」と言えるように、勉強ができるできないじゃなくて、社会に出てからが大事だと思うので、皆さんには頑張してほしいと思います。

楠：母 やはり西高生である誇りを持って、

ただ3年間を過ごすのではなく、何かものやその3年間の生活の中でちゃんとした目的を持って、この学校生活の中でこういうことをしてきたということを自分として結果を出せるように頑張してほしいですし、卒業してからも自分が西高生であるということを誇りを持ってみんなに言えるような人になってほしいなと思います。

大畑 私も最後に…。やはり先ほどもちらっとおっしゃったように、「高校はどこ出身？」と言われたときに、「西高です」と何十年経っても言える学校であり続けてほしいというのがまず願いですね。だから、その誇りを持ってきちっと「西高です」と言えるということが一番大事なことだと思うし、勿論西高と聞いてすぐ近親感が湧く、そういう学校だと思います。僕も。先ほども言いましたが、それなりに1万人を超える卒業生が社会にいて、ふっとあらたまって見ると、西高出身で活躍している方が結構います。地元に戻ってきてやっている方が結構います。西高らしい校風の中に、かけがえのないものがあると思います。自由な雰囲気の中でステップアップしていく人もいっぱいいましたので、そういうふうな学校であり続けていただきたいなと思います。

本日はありがとうございました。

卒業生の先生 ～高校生時代を振り返って今思うこと～



中川 順次 (昭和 53 年卒)

私は、本校の2期生でバスケット部に所属していました。高校時代は部活ばかりしていました。新しい学校でしたが自分たちの力で強くしたい、優勝したいという思いがあり、勉強もそっこのけでバスケットに熱中していました。その強い思いは、今となっては衰えることなく、現在は指導者として後輩に伝えています。

今思うと高校時代、もう少し勉強しておけばと思うことはありますが、一度の人生、勉強もバスケットも結局、二つは追えないということでした。決めた道を信じて突き進むのが、一番大切なことだと今思っています。



荒牧 芳枝 (昭和 54 年卒)

私は3期生で校歌の“いと古き森の都に新しき学舎建てり”の歌詞にあるとおり、金沢に誕生した新しい学校、新しい校舎で学びました。自由な校風の中、伝統はこれから自分たちで築いていくのだという気持ちを教職員も生徒も抱いていたと思います。

部活動はどれも新しく、公式試合に初参加ということで、マスコミの取材もありました。先日の北信越高校野球石川県大会の決勝戦、スタンドで現職職員として在校生や卒業生と共に優勝の感激を共有できたことは大きな喜びでした。

30数年前、同級生の男子が野球部創設を求めて、頭を丸め、毎日体育教官室を訪れ、断られても断られても頭を下げ続け、ようやく部創立にこぎ着け、グラウンド作りから始めたことが思い出され、懐かしく思うと共に着実に西高の伝統は築かれているのだとあらためて胸を熱くしました。



瀬戸 博邦 (昭和 60 年卒)

私の高校生時代は、サッカーに明け暮れた毎日であった。そしてサッカーを通していろいろな経験をした。

当時、西高は県大会では優勝することが当たり前で、全国大会でどこまで勝ち進めるか？が目標であった(インターハイ、高校選手権大会、国体それぞれ2回出場)。県内では負けることが許されない中で、プレッシャーもあったが、それを実現してきた。厳しい戦いから得たものは計り知れない。

現在母校に赴任し6年目である。4年前、全国大会まであと一つのところまで行ったが、惜しくも夢は叶わなかった。

今度は指導者として、西高生に全国の舞台を経験させたい。今はひたすらその夢を追い続けている。

同窓会活動報告 … この5年間

平成15年度 (2003年)

- 創立30周年記念事業
 - 記念式典・・・石川厚生年金会館
 - 記念祝賀会・・・金沢全日空ホテル
 - 同窓会名簿『緑星』発行
 - マイクロバス寄贈
- 同窓会規約の改正
- 同窓会役員改選
 - 同窓会支出規定の制定
 - 同窓会役員改選
 - 同窓会総会 (10月4日)



記念式典・祝賀会

平成16年度 (2004年)

- 平成16年度同窓会理事会
- 平成16年度同窓会総会
- 社会人セミナー講師派遣



教室冷房



マイクロバスの寄贈

平成17年度 (2005年)

- 平成17年度同窓会理事会 (4月28日)
- 平成17年度同窓会臨時理事会 (6月9日)
- 平成17年度同窓会臨時総会 (6月9日)
- 平成17年度同窓会総会
- 社会人セミナー講師派遣



平成18年度 (2006年)

- 平成18年度同窓会理事会 (5月10日)
- 平成18年度同窓会理事会
- 平成18年度同窓会総会
- 同窓会役員改選
 - 教室冷房工事への同窓会基金の貸付・工事竣工
 - 同窓会個人情報保護規定制定
 - 社会人セミナー講師派遣
 - 姉妹校交流事業協賛



姉妹校交流

平成19年度 (2007年)

- 平成19年度同窓会理事会 (4月21日)
- 同窓会報の発行決定
- 平成19年度同窓会理事会
- 平成19年度同窓会総会
- 社会人セミナー講師派遣
 - 部活動応援懸垂幕寄贈
- 『西高文化の日』協賛

部活動応援懸垂幕



西高文化の日



勝利を喜ぶ西高ナイン

今、野球が熱い！！

● 創立 35 周年の夏 — 野球部の活躍に歓喜 —

石川県立金沢西高等学校は今年創立 35 周年を迎えた。節目の年に、野球部が大きな夢にあと一步のところまで上りつめてくれたことは、同窓会としても嬉しいかぎりである。

金沢西高校と言えば「サッカー部だ」と、誰もが口を揃えて言うように、往年のサッカー部の大活躍は同窓生の誇りでもある。野球部はと言えば、サッカーやラグビーの後に創部され、サッカー部の横で遠慮がちに練習をしていた光景はよく覚えている。

あの野球部の今年の活躍を振り返り、新しくなる甲子園での活躍を祈りたい。



● 北信越地区高等学校野球石川県大会初優勝と 全国高等学校野球選手権大会石川県大会ベスト 4

5月6日、石川県立野球場で行われた北信越地区高等学校野球石川県大会において、決勝戦で遊学館高校を6対4の逆転で下し、初優勝を果たしました。

また、7月に行われた全国高等学校野球選手権大会石川県大会でも、初めて準決勝まで進み、補習授業を急ぎよ取りやめて応援に集まってくれた在校生や、県内外の同窓生の期待が集まりましたが、県代表となった金沢高校に1対3で惜敗しました。でも、みんなの心の中には「次こそは」という大きな夢が膨らんだのも事実です。



主将の谷内亮太君



投手の清瀬拓君の力投

● 初陣より 31 年

昭和 52 年に野球部が初の公式戦に臨み、金沢桜丘高校にコールド負けを喫しながらも、翌朝の新聞に「西高初陣さわやかに散る」と大きな見出しになっていたことを思い出します。あれから 31 年。念願の県大会優勝を果たすことができたわけである。

同窓会としましても、サッカー部に続いて野球部が全国大会（甲子園）に出場し、1 万余名の同窓生全員が甲子園で応援できることを期待しています。



北國新聞より抜粋



中日新聞より抜粋

学校だより

部活動報告 '03 ~ '07

野球

- 2003 北信越地区高校野球県大会 準優勝
- 2006 北信越地区高校野球県大会 準優勝

バスケット

- 2003 全国総体県予選 3位 女子
- 2003 新人大会 準優勝 女子
- 2004 新人大会 3位 女子
- 2005 全国総体県予選 3位 女子
- 2005 新人大会 3位 女子
- 2005 新人大会 3位 男子
- 2006 新人大会 3位 女子
- 2007 全国総体県予選 準優勝 女子
- 2007 新人大会 準優勝 女子



サッカー

- 2004 全国総体県予選 準優勝
- 2004 全国高校選手権県予選 準優勝
- 2004 新人大会 3位
- 2007 新人大会 優勝



バレーボール

- 2007 新人大会 3位 女子

バドミントン

- 2003 全国総体県予選 3位 女子団体
- 2003 新人大会 3位 女子団体
- 2004 全国総体県予選 準優勝 女子団体
- 2004 新人大会 3位 女子団体
- 2005 全国総体県予選 3位 女子団体
- 2005 新人大会 3位 女子団体
- 2006 全国総体県予選 準優勝 女子団体
- 2006 新人大会 3位 女子団体
- 2007 全国総体県予選 3位 女子団体



フェンシング

- 2003 全国総体県予選 1位 個人エペ 中本 卓志
- 1位 個人エペ 岩崎 文香
- 1位 個人フルーレ 竹内 麗人
- 2位 個人フルーレ 岸 知彦
- 3位 個人フルーレ 橋本 整
- 2位 個人サーブル 岸 知彦
- 3位 個人サーブル 竹内 麗人
- 新人大会 優勝 男子団体
- 1位 個人エペ 中本 卓志
- 2位 個人エペ 谷口 拓
- 3位 個人エペ 坂下 慶
- 1位 個人フルーレ 中本 卓志
- 2位 個人フルーレ 竹内 麗人
- 3位 個人フルーレ 谷口 拓
- 1位 個人サーブル 竹内 麗人
- 2位 個人サーブル 橋本 和哉
- 3位 個人サーブル 橋本 整
- 2004 全国総体県予選 優勝 男子団体
- 1位 個人エペ 坂下 慶
- 2位 個人エペ 谷口 拓
- 1位 個人サーブル 竹内 麗人
- 2位 個人サーブル 橋本 和哉
- 1位 個人フルーレ 竹内 麗人
- 2位 個人フルーレ 橋本 和哉
- 2004 新人大会 優勝 男子団体

- 2004 新人大会 1位 個人エペ 谷口 拓
- 2位 個人サーブル 橋本 和哉
- 2位 個人フルーレ 谷口 拓
- 3位 個人フルーレ 橋本 和哉
- 2005 全国総体県予選 優勝 男子団体
- 1位 個人エペ 谷口 拓
- 2位 個人エペ 坂下 慶
- 1位 個人サーブル 橋本 和哉
- 2位 個人フルーレ 坂下 慶
- 3位 個人フルーレ 谷口 拓
- 3位 個人サーブル 水上 慎也
- 2006 全国総体県予選 3位 個人サーブル 水上 慎也
- 2007 全国総体県予選 3位 男子団体
- 2位 個人エペ 水上 慎也
- 3位 男子団体

陸上競技

- 2005 新人大会 3位 女子 400M 中島 敦美
- 2006 全国総体県予選 2位 女子 400M 中島 敦美
- 新人大会 2位 やり投げ 永江 拓也
- 2007 全国総体県予選 総合8位 女子
- 全国総体県予選 1位 やり投げ 永江 拓也
- 2位 女子 400M 中島 敦美

水泳

- 2003 全国総体県予選 1位 200M 個人メドレー 丸一 優美
- 3位 100M 自由形 権谷 悠
- 2004 全国総体県予選 2位 飛込団体
- 全国総体県予選 2位 飛び込み 本田 直樹
- 2位 400M 個人メドレー 丸一 優美
- 2位 200M 個人メドレー 丸一 優美
- 新人大会 1位 飛び込み 本田 直樹
- 1位 400M 個人メドレー 丸一 優美
- 1位 200M 個人メドレー 丸一 優美
- 2005 全国総体県予選 優勝 飛込団体
- 全国総体県予選 1位 飛び込み 本田 直樹
- 2位 400M 個人メドレー 丸一 優美
- 2位 200M 個人メドレー 丸一 優美
- 新人大会 優勝 飛込団体
- 3位 50M バタフライ 矢武
- 3位 100M バタフライ 矢武
- 1位 飛び込み 本田 直樹
- 1位 飛び込み 本田 直樹

テニス

- 2003 新人大会 3位 男子ダブルス 金子・増田組
- 2004 新人大会 2位 女子ダブルス 河内・皆戸組
- 2007 全国総体県予選 3位 女子団体

弓道

- 2004 新人大会 2位 女子個人 南野

空手

- 2003 全国総体県予選 2位 個人組手 新川真智子
- 2005 新人大会 3位 女子団体型
- 1位 個人形 1年 山田恵理子
- 2006 新人大会 1位 女子団体組手
- 2位 個人形 山田恵理子
- 2007 全国総体県予選 総合2位 女子
- 1位 個人形 山田恵理子
- 2007 新人大会 優勝 女子団体組手
- 1位 個人組手 舛田 佳奈
- 3位 個人形 1年 砂山翔太郎
- 3位 個人形 2年 田中 健太

吹奏楽

- 2003 県吹奏楽コンクール 銀賞
- 2004 県吹奏楽コンクール 金賞
- 2005 県吹奏楽コンクール 金賞
- 2006 県吹奏楽コンクール 銀賞



合唱

- 2003 県高校ボーカルアンサンブルコンテスト 銀賞
- 2005 県高校ボーカルアンサンブルコンテスト 銅賞
- 2006 県高校ボーカルアンサンブルコンテスト 銀賞

かるた

- 2005 県総合文化祭 上野 詩織
- 2006 県総合文化祭 2位 II部 伊藤 桃子
- 2位 II部 吉村 桃子

進路状況 報告 '03~'08

昨今の社会情勢を反映してか、国公立大学への進学が増えている。生徒と保護者の希望に沿うように、単位制高校のメリットを活かしながら、進路指導の充実を目指した結果であるといえる。

『65分5限授業』から『50分6限授業』を経て、現在は『47分7限授業』を展開し、成果があがっている。

大 学 名	'03	'04	'05	'06	'07	'08
国立大学						
北海道教育大学旭川	1	1				
北見工業大学					3	9
室蘭工業大学		1	1			1
弘前大学			1			
山形大学		1				
茨城大学		1		1		
東京外国語大学		1				
東京学芸大学	1					
山梨大学					1	
新潟大学	2	1				1
上越教育大学	1					1
富山大学	6	10	22	22	17	24
金沢大学	5	8	7	9	4	4
福井大学		1			1	1
名古屋大学					1	
愛知教育大学		1				
信州大学	1	1		2	1	
静岡大学	1	1			1	1
滋賀大学			1	1		
京都教育大学			1			
奈良女子大学			1			
鳴門教育大学		1				1
鳥取大学				1		3
宮崎大学			1			
琉球大学						1
国立合計	18	29	35	36	29	47
公立大学						
はこだて未来大学					2	
青森公立大学				1		
秋田県立大学					1	2
前橋工科大学			1			1
高崎経済大学				2	2	5
首都大学東京			1			
都留文科大学			1		1	
山梨県立大学			1			
富山県立大学	1	5	3	5	5	6
石川県立大学			12	10	8	6
石川県立看護大学	1	4	3	8	3	1
福井県立大学			2	7	3	5
長野県立看護大学		1				
愛知県立大学		1	1			
静岡県立大学						1
京都府立大学		1				
滋賀県立大学		1				
大阪府立大学			1			
兵庫県立大学				1	1	
神戸市外国語大学			1		1	1
広島県立大学			1			
広島市立大学		1				
岡山県立大学					1	1

大 学 名	'03	'04	'05	'06	'07	'08
高知女子大学						1
北九州市立大学				1		
長崎県立大学					1	
金沢美術工芸大学	1	2	2	2	2	2
公立合計	3	16	30	37	31	32
国公立合計	21	45	65	73	60	79
私立大学						
金沢医科大学						1
金沢星稜大学	7	15	17	16	21	40
金沢工業大学	46	44	83	47	54	72
金沢学院大学	7	15	11	10	25	12
北陸大学	13	15	9	7	7	6
金城大学	6	13	6	7	30	18
北陸学院大学						5
仙台大学	1		1			1
桜美林大学					1	1
慶應義塾大学		1				
工学院大学				5		
國學院大学					2	
国士舘大学		3	2	1		2
大東文化大学	1		2			
拓殖大学		3	2			
駒澤大学	1				5	4
専修大学				1	1	1
創価大学	3	2		1	9	4
多摩大学						1
玉川大学	1		1	1	1	2
多摩美術大学						2
中央大学		2			1	
津田塾大学		1				
帝京大学	2	2	4	6	3	1
獨協大学	1			1	1	
東海大学			5	2	1	2
東京農業大学				3	1	2
東洋大学		2				2
日本大学		1	3	6	3	3
日本体育大学	1		2		2	
法政大学			1	4	1	1
武蔵野美術大学						3
武蔵野音楽大学		1				
明治大学	2			1	1	2
明治学院大学		1				2
立教大学	1					
早稲田大学	1					2
国立音楽大学			1			
神奈川大学			2	4	3	1
福井工業大学	2	1		2	3	
仁愛大学				1	2	2
岐阜聖徳学園大学	1	8	2	1	2	3
愛知大学	2	1				3
愛知学院大学	1		3	2	1	4

大 学 名	'03	'04	'05	'06	'07	'08
愛知学泉大学				1	2	1
愛知淑徳大学		1		4	1	
金城学院大学		1		1	1	
中京大学	4	4	14	5	5	4
中部大学		2				3
名古屋外国語大学	2	7		2		2
名古屋芸術大学		1				1
南山大学		2				2
日本福祉大学	1	8	9	2	2	1
名城大学	1		3	1	6	5
京都外国語大学		1	2	1	1	4
京都学園大学		2	2	1		1
京都産業大学	1	11	15	34	19	48
京都女子大学	5	2	1			2
京都造形芸術大学	3	1				1
京都橘大学		1	6		4	1
同志社大学		1		1	4	4
同志社女子大学	1	1	1	1	1	1
佛教大学	5	6	3	15	1	4
立命館大学		2	1	6		10
龍谷大学	3	12	4	25	2	11
大阪体育大学						2
関西大学	1	4	1	9	4	3
関西外国語大学	2	3	3	4	3	4
近畿大学		7	8	4	9	12
関西学院大学						2
奈良大学						2
岡山理科大学		1				4
短期大学						
富山県立大短大部	1		4	1		2
新潟県立女子短大	2					
千葉県立衛生短大				1		1
神奈川県外語短大			1			1
長野県立短大	3			1	1	
岐阜市立女子短大			1		1	
静岡県立大短大部						2
三重県立短大				1		
島根県立女子短大			1			
金沢学院短大	5	5	5	9	16	5
金城大短大部	15	15	26	23	19	14
小松短大			1	2	2	1
星稜女子短大	14	7	12	19	20	16
北陸学院大短大部	15	15	21	15	8	8
関西外大短大部	2	2	2		8	1
専門学校						
石川県立保育専門	7	8	4	8	4	7
金沢医療センター看護	4	7	10	13	16	14
石川県立総合看護	16	11	13	12	8	8
金沢リハビリテーション			4	2	3	1

同窓会事務局より



5年ごとの同窓会名簿更新は、少なくとも平成25年までは凍結しています。同窓会が名簿管理の契約を締結しているのは、『株式会社サルト』だけです。その他の業者との契約は一切ありません。全国の高校同窓会にDMを発送し、詐欺まがいの行為で迷惑をかけている「人事新報社」や同様の紛らわしい業者には特に

人事新報社からののがき

注意が必要です。

金沢西高校は『株式会社サルト』とのプライバシー保護契約の上で名簿管理をしています。



会報『飛翔』の由来



昭和53年9月、創立5周年を記念して、旧校舎の生徒玄関前に建立されたブロンズ像のテーマが「飛翔」でした。以来、卒業生は必ずこの像を見て3年間をすごしたことになります。平成10年に新校舎に移転した時も、この像は移設され、後輩たちを毎朝見守っています。

西高同窓会では、各学年同窓会又は各部活OB会を開くにあたっての、活動の支援をいたしております。必要な費用(名簿の提供、DMの原稿作成費と往復の郵便料金など)を同窓会が負担いたします。

各学年幹事より西高事務局に同窓会を開く旨をご一報下さい。支援条件としては、学年全体の同窓会である事(クラス単位は不可)。部活OB会はOB会組織が有る事、OB会長又は代表から同じく事務局に申し込み下さい。大変便利でお得な制度ですので、どんどん活用して同窓会の輪を広げて頂ける様、期待しています。

学年同窓会を開こう！

編集後記

平成15年に、創立30周年を盛大に祝ってから早や5年の歳月がたった。当時は予想もできなかったくらいスピードで社会情勢が変化している。原油高騰で、ガソリンの価格が200円に迫ろうとは誰も予想できなかったと思う。更に、多様な就業形態の中で、地域格差や賃金格差など、社会のあらゆる側面で『格差』が広がっている。

5年前にはできた、「同窓会名簿」の発刊も、個人情報の保護に関する意識の高まりとともに、非常に神経質な取扱いをしなければならなくなりました。そのため、今回は名簿の発刊を一時凍結し、同窓生の皆様に「同窓

会」の活動を知っていただくための会報の発行をすることとなりました。併せて、名簿の修正訂正と同窓会活動協力金のお願いをさせていただきます。1万人を超える同窓生の唯一の絆として、今後とも活動を継続していきたいと思っておりますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。

私も、この5年間の変化を母校の教壇で見つめてきました。5年前には48校あった全日制高校も今年は42校になりましたが、金沢西高校は多くの生徒や地域社会に受け入れられていると信じています。次々と入学し卒業していく後輩たちには、「金沢西高校」を誇りに思ってもらいたいと語り続けています。